

但馬地域ビジョンとは

但馬地域の住民一人ひとりが但馬の「夢」を描き、その実現に向けて何ができ、何をしていくべきか、知恵を集結して形にすることを趣旨として策定されたものです。

将来像

**自立の郷**  
地域の力を結集した  
「活みなぎるたじま」

**賑わいの郷**  
交流人と共に創る  
「ゆしみあふれるたじま」

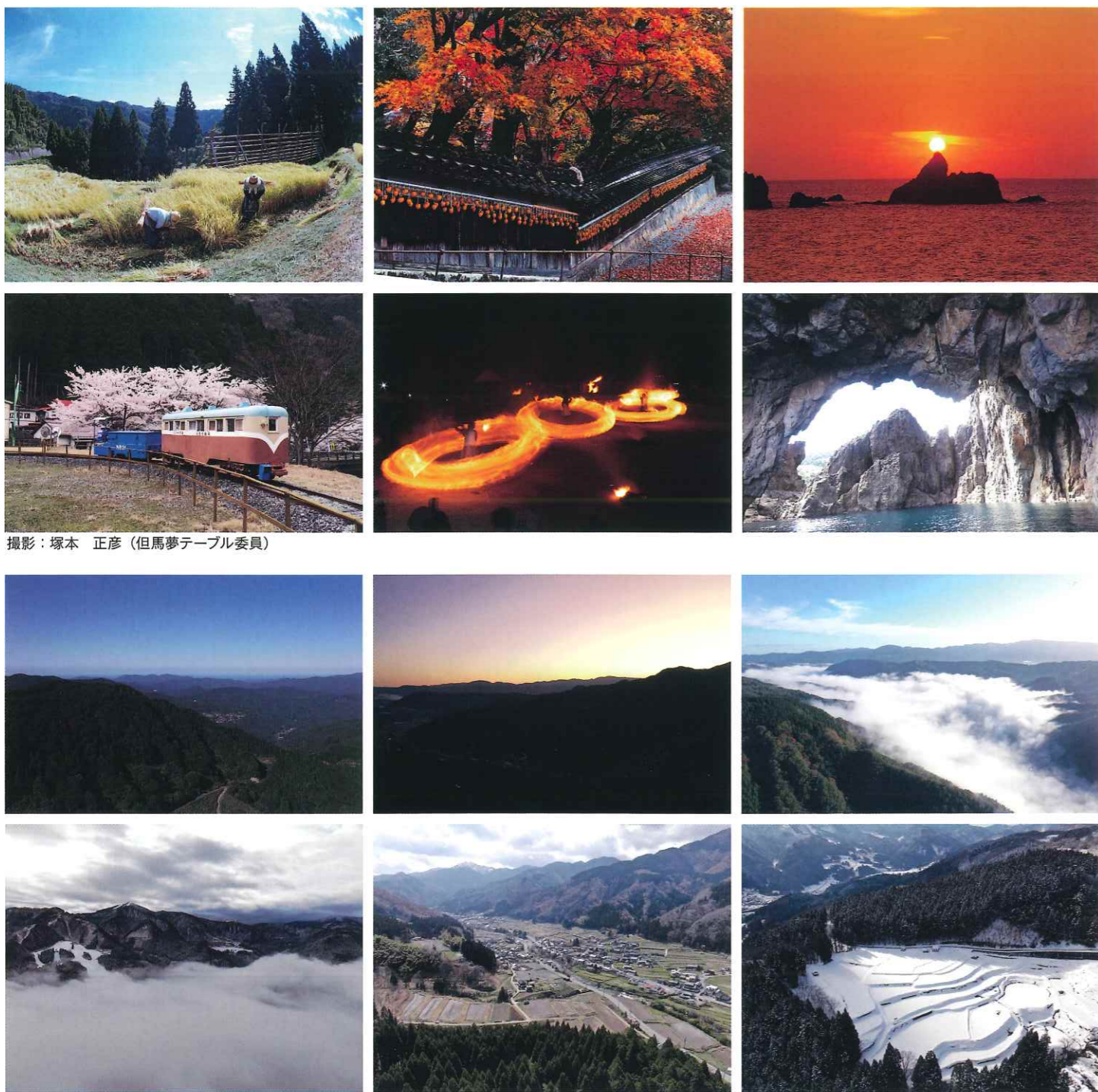
**癒しの郷**  
自然や文化、風土を活かした  
「潤いと安らぎに満ちたたじま」

**慈しみの郷**  
共に励まし、助け合って  
「生きる喜びを分かち合うたじま」

行動目標 人づくり、産業づくり、  
誇りづくり、安心づくり

目指すべき方向 「あしたのふるさと」とは、そこに住む人々だけでなく、  
訪れる人々とも、共に安らぎや感動、共に生きる喜びを分かち  
合える「交流・共生」の地域の姿です。

私たちの大切にしている、但馬の美しい風景です



撮影：塚本 正彦 (但馬夢テーブル委員)

撮影：ドローングラフア 河田 亜衣霞 (但馬夢テーブル委員)

●問い合わせ  
発行/但馬夢テーブル委員会

事務局：但馬県民局 地域政策室 協働推進課  
〒668-0025 兵庫県豊岡市幸町 7-11

但馬夢テーブル委員会  
https://www.facebook.com/yumetable



01但馬@2-005A4



# たじま 夢つうしん

第28号  
2020.2



つな  
がる!  
但馬  
夢テーブル  
委員会

但馬って  
楽しい!



あしたのふるさと但馬  
~コウノトリ翔る郷~

- Contents
- ・但馬夢テーブル委員会とは
  - ・グループ活動の紹介
  - ・あいさつ、メッセージ
  - ・但馬地域ビジョンとは

# 但馬夢テーブル委員会とは

「こんな但馬にしたい!」といった、但馬の将来像を描いた地域ビジョン(夢)の実現を目指し、行政主導型ではなく、私たち住民が自主的な活動をボランティアで企画・実践する委員会です。

第9期では、平成30年4月から令和2年3月までの2年間、55名の委員が、「魅力あふれる但馬」、「輝き続ける但馬」を目指して活動しています。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



私たちは持続可能な社会を目指すSDGsも意識し活動しています。

## 委員会活動

### 但馬地域夢会議

平成30年度は「たじまユメトーク～2030年わたしの描く“幸せ”は～」をテーマに、但馬地域の幅広い世代の描く“幸せ”を通じて、但馬地域ビジョンが目指す将来像の実現方策などを検討するため、県の将来像を描いた「兵庫2030年の展望」を踏まえ、但馬の将来像について意見交換しました。

令和元年度は、「わたしたちの未来地図を描く」をテーマに、但馬の未来について、わたしたちのできることを考えます。

### 全体会



定期的集まって、各グループの活動報告や、グループワークを行い、活動をよりよいものにするために意見を出しあいました。

但馬まるごと感動市にも出展しました。ステージでは、OB活動グループ「タジマモリあげ隊」による、「～夢をお菓子(かたち)に!～スイーツ高校生バトル in TAJIMA」が開催され、各チーム優勝を目指して熱い戦いが繰り広げられました。

ブースでは、「但馬いかそう会」の水車展示、「但馬夢感光～あるある観光発掘・発信隊～」の但馬のゆるキャラ缶バッジづくりコーナーなど、多くの人に楽しんでいただきながら但馬夢テーブル委員会をPRしました。

### イベント

社会人とサークルのマッチングイベントにも出展しました。



# 「今を生きる」～プロジェクト family～



**〔活動目的〕**  
私たちの活動は、但馬のパパママの子育て環境において、『今が楽しい』と感じられる心の余裕を持ってもらえるような様々な取り組みで、パパママ応援を目的として活動しています。

**〔グループ紹介〕**  
但馬地区で子育て応援の場を提供し、様々なイベントを行います。また、子育てについてのパパママ情報共有の場としてもご利用いただけます。さらには私たちの活動を通しお母さんの仕事復帰のきっかけづくりもお手伝いできるよう、家族の絆を深めパパママ協力態勢の子育てを応援しています。現在の子育て応援隊メンバーはママが2名、パパが5名、ばあーが1名の計8名で、アイデアを出し合い協力し但馬県民局のバックアップのもと活動をしています。



私たちと同じように、楽しいだけではなく辛い思いをしながら子育てに励むパパママはいっぱい。どうか、但馬が子育て世代にも住みやすい、未来輝く場所であって欲しい。そんな思いを願っています。

- 田中啓介 (リーダー)
- 二位 聡 (副リーダー)
- 西賀晴奈 (広報担当)
- 原 友子
- 鈴木千佳
- 木築基弘
- 中尾祐二
- 伊木 翔

## 楽しい田舎キャンパス

自然を生かした里山の再生と休耕荒廃地の再活用を探求し、人々の交流・居場所創りを求め、理想的な田舎暮らしを夢見て活動中。

- 2年目の2019年は、出石町中村「ひふり農園」を拠点に、
  - ① 小学生と花苗植え (4種 500株)
  - ② 神河町「楽や」(空家活用)と姫路市香寺町「里山ガーデン」(里山整備)を視察ツアー
  - ③ 農園で収穫祭を開催。活動の輪を広げました。
- 今後さらに里山・農園・生き物・人のつながりを深めていきたい。合言葉は「楽しい田舎キャンパス」。

- 陰 良夫 (リーダー)
- 中西 教夫 (副リーダー)
- 谷口 定男 (広報担当)
- 川瀬 学
- 堀之内 智裕
- 天良 達也
- 岡本 優嗣
- 畑中 照久
- 金丸 真次郎
- 北垣 和也



陰 良夫  
楽しい田舎暮らし、夢を現実に一歩前進

谷口 定男  
竹林整備で竹あかりも楽しい

川瀬 学  
作ろう、食べよう、あそぼう

中西 教夫  
里山休耕地で農作、苗から収穫まで皆で楽しく遊ぶ



空家活用の交流施設「杉」昔ごはんとおやつ時間「楽や」視察 (9月)

収穫祭：ビーマン釣りも大盛況! (10月)

里山整備視察：里山ガーデンのツリーハウスを見上げる (9月)

小学生と花の苗植え (5月)

収穫祭：火を囲んで昼食 (10月)



# 但馬コネクトコネクト (TCC)

「つながる」「つなげる」をコンセプトとするこのグループでは、但馬で暮らす大人のサードプレイス（仕事・家庭に続く第三の居場所）をつくる事を目標に、企画を行ってきました。

環境・教育・観光など、毎回テーマを変え、どなたでも参加頂ける「聞くだけでもいい！おしゃべり Café」。ゆるく楽しく、1月末には第16回目を開催しました。

2019年11月末には、社会人×サークルマッチングイベント「REAL CONNECTION -リアコネ-」を企画。UIターン者含む但馬の社会人とメンバー募集中のサークル・団体をつなぐ、又、団体同士の交流も目的とした初めての試みでしたが、当日は約160名の方が来場・交流。ステージ発表・互いのイベントを紹介し合うなど、大変盛り上がりました。

1人ではできない事を、自分と同じ方向を目指す新しい仲間とできるのが夢テーブル委員会です。年齢も立場も様々なメンバーだからこそできる企画を、皆さんもしてみませんか？

おしゃべり Café 第5回 「SDGsを知る事はグローバル」

おしゃべり Café 第7回 「すぐ使える!映え写真の撮り方」

おしゃべり Café 第14回 「私たちにもできるSDGs」

発表団体との集合写真

11 30 REAL CONNECTION 13:30-16:00

ステージ演出もグループで行いました

17 パートナシップで目標を達成しよう

社員・子育て世代・元教員・経営者など様々な立場のメンバーで、仕事や家庭とのバランスをとりながら活動中です！

Group Members

中島 知乃 (リーダー)  
坂本 裕 (副リーダー)  
上田 真之介 (広報担当)  
岡村 直昭  
小田 垣夏子  
木築 基弘  
西田 米男  
本井 裕司  
松岡 寛一  
脇本 充志  
北賀 太志  
西賀 晴奈

# 但馬夢感光～あるある観光発掘・発信隊～

のぼり旗完成

諸寄プラ旅

ゆったり歩き

ロードフェスタ

西田 米男  
あるあると歩んだ2年  
思いを共にこれからも

久保田 寛  
2年間で改めて  
但馬の良さを発見できました

関 綾乃  
夢メンバーとの企画や  
活動の楽しさは∞!

本井 裕司  
但馬の魅力の共有と、  
新たな発見

川瀬 学  
これからも  
観光パトロールに  
行ってきます

松岡 寛一  
またやりたい輪  
つながった輪  
かんだうした輪

鈴木 智美  
「すごい」  
感光あるあるを  
みんなで発掘!!

橋本 佳奈  
地域の新たな魅力を  
知ることができ  
嬉しい!

脇本 充  
「すごー!」と  
感動できる  
体験を発掘したい

【活動コンセプト】  
「観光から感光へ」 「ONE TEAM 但馬」  
但馬には、「山陰海岸ジオパーク」に代表される豊かな自然、2万5千年前から始まる歴史、遺産、温泉、祭り、食産業などの魅力的な観光資源が埋もれている。その中から「宝」を、発掘して、但馬内外へ情報を発信する。

【活動実績】  
\*但馬まるごと感動市出展 (18、19年)  
\*但馬検定 (2級2名、3級1名)  
\*但馬のまほろばロードサイドステーションフェスタ10出展 (19年)  
\*神子畑桜まつり (19年)  
\*「湯ったり歩き隊」コウノトリ公園～城崎14Km (19年)  
\*諸寄プラ旅 (19年)  
\*ナイトフォトコン (継続中)  
\*但馬12選 (継続中)  
\*応援 子どもバス体験 (18、19年)

Group Members

西田 米男 (リーダー)  
久保田 寛 (副リーダー)  
関 綾乃 (広報担当)  
本井 裕司 (広報副担当)  
川瀬 学  
鈴木 智美  
橋本 佳奈  
松岡 寛一  
脇本 充  
山本 真澄  
渡邊 万佐己  
岡村 直昭

# Girls, Boys and...

私たちのグループは、但馬で育つ子供たちが、地域や社会にも関心を持ち、多様な価値観に触れる事で、豊かな心、生きる力を育ててほしいという想いで活動しています。「Girls, Boys and...」というグループ名にも、子供たちと新たな価値観を繋ぐグループでいたいという思いが詰まっています。

「キャリアスクール」、「夏のSDGs 集中ワーク」「高校生キャリア塾」「地域社会科学部 LSS」などの、地域の高校生に未来を豊かにできる力を育ててもらおう機会となるようなイベントを企画し、実施しました。他にも、飛んでるローカル豊岡へ、若者に向けたメッセージを投稿したり、地域の達人を集めたイベントも実施したりしました。今後も、私たちの活動が少しでも但馬の子供たちの未来を広げる活動になる様に頑張りたいです。

夏のキャリアスクール 第3回

7月13日(土) 15:30-17:30(受付15:00-)

会場：豊岡市役所3階 書芸室

参加費 無料

1. メンターからのメッセージ  
2. グループワーク (アイスブレイク)

高校生キャリア塾

11月16日(土) 14:00-17:00

会場：LSSのつどい

山崎 憲一  
魅力あふれる方々との  
出会いが楽しみです。

桑原 里奈  
多様な方と出会い、  
視野が広がりました。

木築 基弘  
未来を創る世代が  
夢を持てる  
地域にしたいです。

谷岡 慎一  
いろんなつながりで  
但馬を盛り上げたいです。

橋本 祐未  
中高生のエネルギーと  
能力に刺激を受けます。

Group Members

山崎 憲一 (リーダー)  
小田 垣夏子 (副リーダー)  
桑原 里奈 (広報担当)  
河田 有香  
木築 基弘  
谷岡 慎一  
中家 一弘  
村本 祐未  
橋本 好子  
民部 義弘  
安井 直昭  
岡村 充

# たじま夢ちゃんねる



西賀 真紀  
知れば知るほど面白い!  
但馬は宝島!



塚本 正彦  
但馬そのもの宝物、  
未来へ託せ若者へ

- 西賀 真紀 (リーダー)  
福井 友恵 (副リーダー)  
塚本 正彦 (広報担当)  
大橋 秀明  
小田 根厚 芳  
中尾 祐二 亮  
米澤 亮 一  
西賀 晴 奈  
西野 米 男  
畑野 友 実  
原 友 子  
脇本 充

Group Members



福井 友恵  
但馬の宝物を  
次へと繋いでいこう



大橋 秀明  
たのしく、じかんも忘れる。  
まさにお宝の宝庫



中尾 祐二  
魅力満載。  
但馬を楽しもう!



脇本 充  
但馬で、新発見!再発見!  
いつもワクワク!♡



米澤 亮一  
但馬の魅力を再発見!  
ワクワクしましょう!



但馬の宝とは、豊かな自然の恵みであり、その地形気候風土とともに暮らす人々、その歴史でもあります。但馬のルーツを探究すると、国造り・国譲りの神代まで遡り、「古事記・日本書紀」にも登場する天日槍(アメノヒボコ)・田道間守(タジマモリ)・神功皇后など古代天皇と深く関わります。大陸から渡来してきた人々と但馬を含む日本海側で文明文化が融合され、出雲や伊勢へと繋がる「日本のはじまり」に深く関わる但馬。

今年は但馬を代表する神社「但馬五社」を巡り、神話や由緒を知り、但馬をもっと好きになろうというバスツアーを行いました。

たじま夢ちゃんねるでは、但馬の宝に注目しヒト・コト・モノのストーリーを知り皆様へお伝えしていきたいと思っています。皆様の好きな但馬、伝えたい但馬、是非情報をご投稿して共有してください。但馬での出会い感動がありますように・・・。

たじま夢ちゃんねる Facebook ページ、グループに参加してください!

<https://www.facebook.com/groups/479470235793988/>



- 嶋崎 輝光 (リーダー)  
畑野 実 (副リーダー)  
日下部 建夫 (広報担当)  
渡邊 幸雄  
川瀬 学  
本井 裕司  
谷口 一正

Group Members

# 但馬いかそう会

【概要】  
「但馬の過疎をいかに 但馬の自然をいかに 但馬の人をいかに」を合言葉にエネルギーの地産地消を目指し但馬における水力発電の可能性を8期に続いて活動を行っています。

【活動内容】  
自転車のハブダイナモを活用したものから自作の発電機+昔の水車小屋(上掛水車)製作までの経験を生かして、より一層パワーアップをはかるべく、但馬夢テーブル委員会のメンバーから利用させて頂ける事になった灌漑水路での実験です。水路幅も広く水量も多いので、地形も考えて下掛水車を採用する事になりました。これが上手く行けば、「超」極小水力発電ではありますが、獣害対策ネットや照明の電源として利用価値がありますから、今後実用化?を考えても良いかもしれません。

# 委員長・副委員長あいさつ



まず驚くのが、地域も出身も年齢も性別も日頃している事も違うのに、同じ想いに共感してくれる沢山の人達に出会える事。全員に共通するのは「自分たちの暮らす地域をもっと素敵にしたい、楽しみを増やしたい」という志。みんなが心の中に持っていた「したかった事」を「できる事」に変えてくれるプラットフォームが委員会。多くの専門家メンバーや県民局のサポートで、それぞれの想いが、どんどん実現していきます。思わぬ出会い、機会は、新たな自分自身の発見と成長にもつなげてくれます。したい事だけに柔軟に関われる会ですので、主婦や大学院生の委員も多数。子連れミーティングもしてますよ。

委員長 木築 基弘

但馬夢テーブル委員会ですまず感じたのは、「但馬にも色々な人がいるんだなあ」ということです。色々な年代、職業の人がいて、前向きに活動する人も多く、継続的にいい刺激を受けることができました。自分の視野もかなり広がった気がします。

普段の仕事の中や、いつもの友達とでは経験できないようなことをたくさん経験できたり、活動を通して、活動メンバー以外にもさらに多くの人と出会えました。2年間、自分に何が出来るだろうと思っていたけど、本当にあつという間でした。但馬夢テーブル委員会での活動の記憶や、出会えた人たちは、私にとって大切な財産となっています。

副委員長 橋本 祐未

但馬夢テーブル委員会は望めば誰でも参加をすることができる組織です。地域に対して同じ気持ちを持った人たちと取り組むことが出来るというのは、大変有意義なことでした。有志の集まりとは違い、事務局を中心としたバックアップの存在がかなり大きく、より確実に企画を進行していくことができることも魅力的でした。

皆さんがこれまで見てきたこの地域の中での取り組みも、但馬夢テーブル委員会が形にしたものがあると思います。委員長やグループリーダーをはじめとして、そのグループをつくり、活動を続けた委員会メンバーの努力あってこそその結果であると感じます。次期以降続いていくこの委員会の副委員長という大役を務めさせていただき、大変光栄に思います。本当にありがとうございました。

副委員長 岡村 直昭

# 専門委員からのメッセージ

兵庫県立大学  
名誉教授  
井内 善臣

第9期では、「活力みなぎる」「ゆしみあふれる」「潤いと安らぎに満ちた」「生きる喜びを分かち合う」の4つの「たじま」を目指した7つのグループ活動を行って頂きました。この活動を通じて、但馬に内包されている多様な自然、食、人、文化、歴史、そして産業など、単に「人と人」だけでなく、「人と地域」、「地域と地域」の強い繋がりを生み、そして委員の皆様の交流・共生が大いに進んだことと思います。あつという間の2年であったらと思います。第9期但馬夢テーブル委員の皆様の熱心な活動、ご苦勞様でした。感謝申し上げます。さらなる「つながる、つなげる」を目指して今後も地域で御活躍されることを願っております。

関西大学社会学部  
社会システムデザイン専攻  
教授  
草郷 孝好

第9期但馬夢テーブル委員による多彩なグループ活動は、発信力も高く、地域巻き込み型の素晴らしい活動でした。「若者の人口流出が止まらない」という問題がよく指摘されますが、人口の増減以上に、魅力ある暮らしのできる但馬地域であるかどうか、そういう地域を創っていくことが大切だと思います。その意味で、但馬夢テーブル委員会の活動は、但馬の持つ良いところを見つけたり、新しい活動を作り出したり、但馬の魅力を創造していく活動になっていると思います。この但馬づくりのバトンが第10期へと引き継がれ、新たなメンバーと活動によって「誰もが気持ちよく暮らすことのできる素敵但馬」に近づいていくことを期待しています。

兵庫県立大学大学院  
地域資源マネジメント研究科  
講師  
菊池 義浩

第9期の活動がスタートしてから2年が経過し、時の経つ早さを感じています。今期は新規に委員になられた方も多く、皆さんにとっては新たな人とのつながりを築きながら、地域づくりを考え推進した有意義な時間だったのではないのでしょうか。ある集落に密着した活動から、広く但馬地域を対象としたイベントなど多様なグループ活動がみられ、改めて但馬夢テーブル委員会の取り組みに興味を持ってくれた人、また、実際に参加・協力してくれた人たちも多々います。この2年間の取り組みの成果は、これからの地域を支える貴重な社会資源になっているはずです。委員として貢献された皆さんの、今後のさらなるご活躍を応援しています。